

1．マクロ経済学の基本

マクロ経済で習うこと

市場	生産物市場	貨幣市場	労働市場
供給	生産要素 資本、労働	マネーサプライ	労働者 (失業率)
需要	消費・投資	貨幣需要	企業
価格	物価 (消費者物価 卸売物価)	利子率 (国債利回り)	賃金 (雇用者所得)

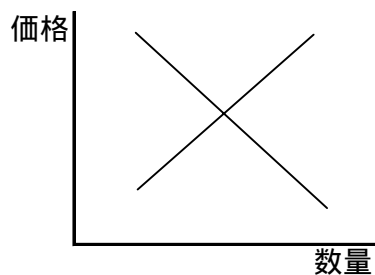
1．市場

需要 = 人間の欲望から発する おいしいワイン、楽しい食事、優れた音楽

供給 = その欲求を満たすための努力

価格 = 需給の状況を教えてくれるシグナル

均衡 = みんなが満足する点



・ パン屋を始める 2個 100円から

・ 「ロビンソンクルーソー」の世界との違い

1人の場合、2人の場合、...

2. マクロ経済学では...

生産物市場 モノ

価格 物価（消費者物価指数など）

数量 GDP（労働力）

需要曲線 消費、投資

供給曲線 生産要素→生産するのに使うもの。労働力、資本、土地など。

貨幣市場 カネ

労働市場 ヒト

3. 政府の必要性

「市場の失敗」公園、道路、環境問題

「再分配」所得の違いは努力か運か？

マクロ経済の関心事

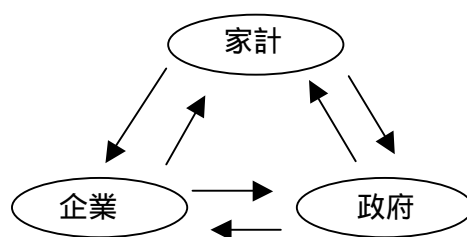
- ・失業
- ・インフレ

スタグフレーション（泣きっ面に蜂）

財政政策は、減税や公共投資など、政府がお金を使う政策。

金融政策は、金利を動かしたり、お金の供給量を変えたりする政策。

4. 経済主体



経済学史

古典派

アダムスミス

著書 ()

キーワード ()

「私達が食事にありつけるのは精肉店、酒屋、パン屋の博愛心のおかげでなく、彼らの自己利益への配慮のおかげだ」『国富論』(1776)

1825 年に恐慌

リカード 証券会社出身 貿易自由化賛成

理論 ()『経済学および課税の原理』(1817)

生産物 1 単位を作る のに必要な労働		国	
		英国	ポルトガル
生産物	布地	100 人	90 人
	ワイン	120 人	80 人

布地の価値 = ワインの価値

- ・英国が布地だけ生産して、ワインをポルトガルから買うと？
- ・ポルトガルがワインだけ生産し、布地を英国から買うと？

マルサス 牧師 貿易自由化反対

著書 (『 (1798))

人口は等比級数的に増えるが、食料は等差級数的にしか増えない。

人口 = 1 → → →

食料 = 1 → → →

需要不足を心配

ケインズ v s 新古典派

ケインズと新古典派の大胆なイメージは次の感じ。

ケインズ	公平	エリート意識	政府	失業は困る	情緒的
新古典派	効率	弱肉強食	市場	失業はない	理性的

	需要 or 供給	政府 or 市場	財政政策 or 金融政策
ケインズ			
新古典派			

ケインズ (ケインジアン)

民間部門は不安定 = 市場原理だけではだめ = 政府のコントロールが必要

恐慌の原因 = (有効) 需要の不足 → 非自発的失業 (市場にまかせるだけでは無理)

解決策 = 消費や投資など需要を増やす

新古典派

民間部門は安定的 = 市場に任せれば良い = 政府は小さいほうが良い

恐慌の原因 = 政府の介入

マネタリズム フリードマン

政府はなんにもせず、貨幣供給量を一定にすればよい。

貨幣供給量 (マネーサプライ) → GDP

「貨幣供給量を安定的に増やせば、GDP も安定的に増える」

自然失業率 → 政府には財政政策では除去できない失業がある。

サプライサイド経済学

企業が活発に活動できるような政策が重要

減税、「小さな政府」

合理的期待形成学派

人々は合理的に行動しているので、政府の政策は無駄に終る。

Q. マネタリストとは何か？マネタリズムが良く分からない。

A. マネタリーとは貨幣のこと。物を買うときはものと反対にお金動く。普通はものの動きに注目するが、マネタリストはお金の動きに注目する。

「～ist」は「～主義者」という意味。直訳すれば、貨幣主義者。

マルクス

著書（ ）

シュンペーター

キーワード（ ）

よくある質問

Q. 経済学にはいろいろな考えがあり、どの考えがいいのでしょうか？答えは一つではないのかな？難しい。

とくに答えはありません。趣味とか思想とかの問題です。そのとき習っている先生の影響とか。効率（新古典派）と公平（ケインズ）と考えるとどちらが好みかわかるかもしれません。短期的にはケインズ、長期的には新古典派が正しいとも言われています。

Q. 市場経済派か政府介入派か分かれてしまっているけれど、なぜ中立派（というより、両方のいいところをとろうとする派）がないのだろうか。弱点を補ってやった方が不況の脱出はできると思うのに。

政府はそういう感じで取り扱っていますが、「日和見的」とも言われています。

Q. なぜケインズ経済学が経済学の基礎になったのですか。

ケインズはマクロ経済学の創始者。それまでは個人単位で経済学の枠組みを考えていたが、国単位で考える方法を編み出した。

Q. 投資って政府だけでなく民間の企業もやるのですか。

投資はだれでもやります。あるお金の使い道には、消費と投資があります。消費は使うこと自体で満足感をえるもの。投資は、使うことで将来の収益を期待するものです。

証券投資 = 株に投資して将来値上がり益を狙う。

公共投資 = 道路や橋を作って、国民みんなの利益になるようにする。

設備投資 = 工場や店舗を作って、より儲かるようにする。